

まず、子どもたちを幸福にしよう。すべてはそのあとに続く。



ナレーション
吉岡 秀隆



エンディングテーマ
THE BLUE HEARTS『夢』

2020年に文部科学省の学習指導要領が「探求学習」に大きく舵を切りました。30年も前から「探究学習」を実践する認可校が「きのくに子どもの村学園」です。子どもの村学園に長期取材したドキュメンタリー映画『夢みる小学校』に、中学生パートを追加撮影した『夢みる小学校・完結編』の登場です！文部科学省選定映画『夢みる小学校』が、さらにアップデートしました。

ナレーションは、吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの『夢』。監督は『いただきます』『夢みる校長先生』『夢みる給食』のオオタヴィン監督。わくわくするシーンの連続、童心にかえったような初々しい感動。不登校生徒数が30万人に達し、日本の公教育が大きく揺れている今こそ、あなたの町の学校を変えるヒントを、この映画からみつけてください♡

監督:オオタヴィン 制作:まほろばスタジオ 2024年/本編95分/監督トーク映像10分

映画出演者コメント

子どもも楽しい、
教師も楽しい。
楽しくなければ
「学校」じゃ
ありません。



堀 真一郎

(きのくに子どもの村学園学園長)

体験学習は、
AI時代に適応した
”脳のOS”を
つくります



茂木 健一郎

(脳科学者)

この映画は、
「教育の本質」を
みせてくれます。



尾木 直樹

(教育評論家)

ここには、
民主主義の原点
があります。



高橋 源一郎

(作家)

人生は
「問い」
の連続です。



辻 信一

(文化人類学者)

校則ゼロ。
公立学校も、
実は、
自由なんだよね。



西郷 孝彦

(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

「夢みる小学校」上映会

6月24日(火)

@信濃教育会館 2F 講堂

主催者からのメッセージ

信濃教育会教育研究所で上映会を企画しました。直接体験や
实际生活が学習の中心となることで、子どもたちがどのように
学んでいくのか。映画では「総合学習」を中核に位置づけ、内か
ら育つ子どもの教育を実践している伊那小学校が紹介されて
います。子どもが目輝かせて学ぶ瞬間を私たちは大切にしたい。
子どもたちが「自分のままでいいんだ」と思える学校、授業
づくりをしていきたい。いっしょに映画を観て考えましょう。

●上映日：6月24日(火)

●映画上映時間：①15:30~17:15

②18:00~19:45

(映画 95分 監督トーク映像 10分)

●会費：どなたでも無料(申し込み不要)

●主催：信濃教育会